

114
A34



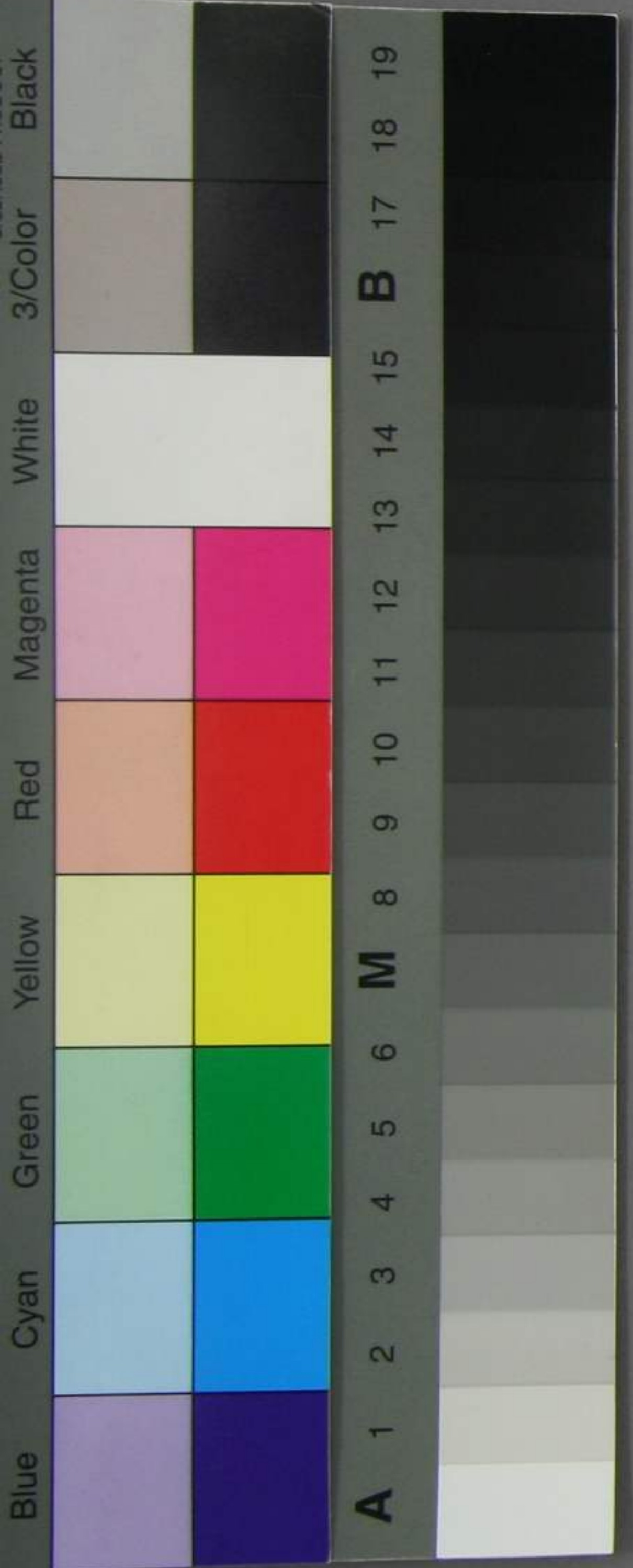
大清
光緒十一年四月
候爵郵寄
殿

大清國政府欽差幫辦新疆軍務大臣頭品頂戴
曾國一等侯爵郵寄殿
蘇候補道許厚如ト亦ト一方ハ大日本第一國立銀行ト
ノ間ニ西曆一千八百七十七年
光緒三年二月十二日議
定スル所ノ換約條 欽

光緒二年二月十三日(一千八百七十六年)月日ニ欽差送セル金大臣
ノ命令書ニ因リ清國政府ノ為メ海關銀兩百五拾萬兩ヲ上海
ニアリテ借入ル事ノ委任ヲ受ケタルニ付茲ニ双方此約定ヲ結
ビ左條ノ欽目ニ照シテ之ヲ以テ實際ニ取行フニ相成テカラント
証明ス

第一條

清國政府ニ對シテ約定ノ欽目ヲ以テ實際ニ取行フ為メ上海ニ在ル
英商「リンド」がエンスニ商會ヲ以テ其代ハシテ撰ビセリ



第二條

一 借入スル金銀ノ海關銀五百萬兩ニテ其利息西曆廿四年年々取テ借入金銀ノ對シ海關銀五百兩ニ付海關銀八兩五錢(八年)トス
借入ノ元金ニ毎年十二月一日ヨリテ海關銀拾五萬兩ヲ年賦ニシテ返入スル而シテ第一次返納ヲ一千八百七十八年第十一月初一日トシ最後ノ返納ヲ一千八百八十七年十二月初一日トス
元金ニ附スル所ノ利息ニ毎年二月ニ拂ハル(即チ第五月初一日トシ)月
借入金ノ元金返入ノ割合ニ千八百七十八年第十一月初一日ヨリ拾箇年間ニ元利一併ニ還清スル

第三條

一 元利返還ノ擔當トシテ清國政府ニ此約定ニ割一ナル別成雖

形ノ如キ証券票ヲ上海漢口廣東三港ノ海關ヨリ出スル而シテ其証券票面ニ

西江總督 江蘇巡撫 江南(上海)海關道

兩湖總督 湖北巡撫 漢口海關道

兩廣總督 廣東巡撫 粵海海關道

一律蓋印シテ信守ヲ昭カシ外ニ右三箇所ニアル海關ノ外國理事官之ニ印シテ其事ヲ記録スル而シテ許道ニ總理衙門ニ申立テ右記ノ各官官憲ニ該衙門ヨリ適用スルヲスルニ辦理スル

第四條

一 該海關証券票讓渡シ賣渡シスルニ至テキ有ニシテ若シ其期限ニ至リ清國政府ヨリ拂戻シラサル時清國政府ニ對シ此証券所攝人ヨリ海關稅金ノ代リニ右証券票受取ルルキモ

ノトス

第五條

一該海關証券一個ノ記載金額海關テ一五千ドル以下者
千ドル以上タルモ

第六條

一該海關証券ヲ以テ拍賣トシタル金額(元金利息共)ニ平時ト戰
時トニ拘ラス又其所持人ノ親屬ノ臣屬タルカ敵國ノ臣屬タ
ルカラ同ク又清國政府ヨリ必ス押戻スルキモノトス而シテ右証券
英ニ之ヲ拍賣トシタル元金利息金ニ向テ清國政府ニ送テ之ヲ
掠奪シ或ハ之ヲ取押シ或之ニ何様ナル賦税ニテモ課付スル事
能ハサルモノトス

第七條

一該海關証券上海ニ在ル東洋銀行(オリエンタルバンク)英ニ在リテ

シマキリン商會ヨリ清國政府ニ貸付シタル金額ノ拍賣トシ
タル証券ヲ除クノ外上海漢口廣東ノ海關稅ニ於テ先取
ノ權ヲ有シ而シテ清國政府ニ東洋銀行英ニ在リテ先取
カシク商會ニ出シタル証券ニ對シテ金額ノ外此証券ニ對シ
シ金額ヲ先ツ押戻スル

第八條

一前條ニ記載シタルリイダイヴニス商會ニ海關証券對照ノ
後之ヲ返取リ而シテ其時ニ第一國立銀行ヨリ借入ル
所ノ金高ニモ當レタル証券ヲ該銀行ニ交付スル

第九條

一若シ此約定ニ因テ發行シタル海關証券紛失スルコトアルニ當
リ第一國立銀行ヨリ清國政府ニ尙且スルキ証券ヲ示レ且ツ
其紛失シタル証券拾得スル者ニ送レテ押戻スル

七、青島政府の勅令ヲ依リテ發行シタル「青島銀行」の資本額ハ、

第十條

一、青島立銀行ハ該國與金銀ヲ在ニ記載スル所ノ方法ヲ以テ發行スル

一、海關テール 四拾万兩

一、日本旧銅貨 五拾万兩

但、舊千両百兩枚ヲ以テ洋銀五萬圓ニ充テ

一、日本補銅貨 拾万兩

一、銅下銅鑄形銅共 拾六万兩

但、金額五万兩ヲ鑄形銅ニ充テ洋銀五萬圓ニ充テ

一、石灰 拾万兩

但、三池大炭五万八千噸ニ充テ洋銀四萬六千噸

之噸毎洋銀四萬五拾五セント今福六千噸ニ充テ

洋銀三萬五拾五セント唐律六千噸ニ充テ洋銀四萬

替ニテ船艇液ニ

一、小麦五萬石 概五并 砂万三千兩

但、右ノ日洋銀三萬五拾五セント替ニテ石ノ重量ニ百

一、米三拾万石 概五并 五拾六万七千兩

一、日本貿易銀及洋銀 概五并 五拾六万七千兩

但、貿易銀、洋銀、高、銀行、都合ニ依リテ之ヲ六

共計額百五拾万兩也

第十條

一、第一國立銀行ノ前々ニ記載スル所ノ旧銅貨ニ充テ

ノ金額ヲ必... 限ラサル... 成テ其類ニ充タスコトヲ勉メ... ナルレシ若シ記載物品ノ全額ヲ... 除クニシテ清國市場ニ適スキ物ヲ以テ其不足ヲ補ヒ其價... 八交付當日相場ヲ用フレシ若シ又他ノ物品ヲ用サレバ正價... ヲ以テ補カスレシ右交付スキ米ニ右ノ重量貳百三拾... 二均一(清國鈔百)ナルベシ而シテ其價ハ日本銀行ノ法ニテ右... 付洋銀四布七拾五セントタルレ右米ハ日本平均良米タルレ

第十二條

清國政府前条記載スル所ノ海關テレハ鈔百五十拾万兩ニ當ル

所ノ海關証券ヲ此約定調印ノ日ヨリ六月内ニ上海ニ移ラテ
一國立銀行ニ交付スルキ用意ヲテ又第二國立銀行ニ右貨
付金額ヲ日時間内ニ清國政府ニ送レ畢ルルヲ用意スルレ

第十三條

清國政府ハ物產或ハ正貨共其交付當日ヨリ利息ヲ起シ
シテ第一國立銀行ニ拂フレ(日本銀行ニシテモ上海銀行ニシテモ)

第十四條

總テ物產ニ第一國立銀行ヨリ東京横濱四口市方場ニ
庫下閣長峯ノ諸港ニ在ル所ノ銀行ノ倉庫ニ於テ清國
政府ノ代理人ニ交付スレ

第十五條

日本舊銅貨並ニ諸物產ノ價ハ銀或ハ洋銀ヲ以テ之ヲ定
メ日本銀行ニ銀百圓ニ當ル上海テレハ七拾五

大 裁

ノ一價ノ以テ言フコトナシ

第十七條

此約定書第十條ニ於テ第一國立銀行ヨリ清國政府ニ貸付スル所ノ金銀ノ種類ハ海關銀百兩ニ付上海テリトモ百拾壹元ニ付四ノ一ス(百拾壹元)ノ割ヲ以テ計算スルハ清國政府ヨリ此借入金ヲ返償シ或ハ此海關証票ヲ拂戻ス時ニ第一國立銀行ニ上海テリルヲ前條証載スル所ノ相場ヲ以テ少ク取ルカ或ハ海關テリルヲ九百九拾八元位ヨリ少カラサル位且ツ英量五百八拾三グレイントロイ九毫ノ重量ヲ以テ受取ルノ自由ヲ有スルニ而シテ若シ此ノ品位ノ争議アルハ大坂造幣局試驗所ヲシテ之ヲト拵セシメテ其異アルハ清國政府ニ之ヲ加補スル

第十七條

一海關証票ノ爲メ若シ借用元金及年々之ニ付スルキ利息ノ拂戻レ方ニ總テ上海ニ於テ之ヲ取扱フモノトス

第十八條

一第一國立銀行ハ此約定書第十條ニ記載スル所ノ回洞債及諸物ヲ存テ此約定洞印後都合以テ速ニ清國政府ニ交付スルニ而シテ清國政府或ハ日本ニ在ル其代理人ニ右物品ヲ六ヶ月付スルキ旨該銀行ヨリ相當ノ所額アルハ速ニ之ヲ受取り且ツ其物品ノ價ニ當ル海關証票ヲ引換ニシテ付スルニ若シ該証票未ダ輕重セサルハ清國政府ニ第一國立銀行ニ右物品ノ代價ヲ豫テ定メタル價額ヨリ正償ヲ以テ度スカ或ハ該銀行ノ業引キ上ホ、相當ノ與ラレ而シテ右正償或ハ相當ノ海關証票將ニ至リテ引換フニシ

第十七條

總 物品ノ一量ヲ定ムル日本並通ノ如ク
若シ第一国立銀行ヨリ物品ヲ輸出シタル後日本政府ノ備
之ヲ其倉庫ニ設置スルキハ通商ノ取リ去ルマデ間右倉
庫借料其他一切ノ費用ハ清國政府ヨリ之ヲ拂フ
第 二十 條

一 此約定書第拾條ニ記載スル所ノ正貨係ノトモハ必ス海關
証票ヲ引換ニ交付スルモノトス然レモ其金額或ハ發給
シタル証票整理スルハ其額ニ存シ之ヲ又付スルモモ
時ニ清國政府ヨリ第一国立銀行ニ相當ノ金額ヲ知ラ
ス
第 二十一 條

一 若シ該銀行ヨリ第拾條ニ記載セラルカ或ハ價格ヲ定メタル他ノ
物品ヲ海關事務スルハ其物品ヲ清國政府ノ代理人ニ付シ
ル場所ニ於テ當日ノ時價ヲ以テ之ヲ定ム
第 二十二 條

一 物品ニ付シテ之ニ付シタル清國政府ノ引換
タレ
第一国立銀行ハ此約定ニ従ヒ日本ヨリ輸出スル所ノ物品ニ向ヒ
通常日本政府ヨリ課税スル所ノ税金ヲ免除スル事ヲ承
理ス
第 二十三 條

一 此約定書第拾條ニ従ヒ第一国立銀行ヨリ清國政府
ニ交付スル所ノ旧銅貨或ハ補助銀貨ハ上海ニ於テ海關
而シテ其運賃保料ハ清國政府ヨリ之ヲ拂ヒ之ハ賦
課スル所ノ輸入税ハ若シ賦税アリマシモ清國政府ニ付シ
テ
第 二十四 條

第二十四條

一 諸物品に著し三差を以て之を運賃に算入し且て運賃より昂き
ナラサレ三差を以て之を運賃に算入し且て運賃より昂き

第二十五條

一 此約定書第十條に記載スル所之長と第一國立銀行ヨリ清
國政府ニ交付スル所ノ物品ニ於テ若シ其相対重量或ハ
相対容積ノ國政府ト第一國立銀行トノ間ニ争議或ハ異又
アルキ之ヲ清國政府ト第一國立銀行トヨリ是ノ人員
豫定シタル所ノ仲裁人(此仲裁人ハ若シ兩人ニテ裁決スルハ
兩人ニテ要シ他ノ一人ヲ豫定シ仲裁人トスル)
ヨリ之ヲ決定セシムルコトニ右仲裁人ガ又ハ右兩人ニテ豫定
シタル所ノ第一國立銀行ヨリ清國政府ニ送レタルカ或ハ送
ラレタル物品ノ時價重量或ハ品物ニ於テ果シテ不意ナル
廉アリレヤ否ヲ裁斷スルノ權ヲ有スルコトニ右仲裁人

人ガ或ハ仲裁人ノ之ヲ裁斷シタル以上之重ト右不意ナル廉ヲ
補正スル方法ヲ決定指揮スル權ハ第一國立銀行
右ノ指揮ニ従テ之ヲ補正セシムルコトニ右不意ナル廉ニ以テ此約定ノ
事情ト看做サルコト

第二十六條

一 清國政府若シ此約定書ノ日ヨリ六十日以内ニ該貸付金
ヲ受取ラズ且ツ之カ担保トシテ海關証券ヲ第一國立銀
行ニ送リタルハ破約ノ價金トシテ海關テール拾万兩ヲ第一
國立銀行ニ拂込スルコトニ右第一國立銀行右六十日以内
ニ貸付金ノ金額ヲ全歸セサルハ破約ノ價金トシテ海關
テール拾万兩ヲ清國政府ニ拂込スルコト

第二十七條

一 此約定書ニ副署シ大清國政府駐英公使兼駐英新疆領事大臣

頭ニ頂戴為尊本館所都流金一ノ以蘇所補道許子
 如二書送ニタル命全書正ハ 此市書ト同一モノタルニ
 此決定方面ニ日本文ハ清國文ト以テレハカフニニ英文ヲ副
 二置クハニ後日若シ双方ニ意味相適カスレテ異議ヲ生スルマ
 ラニ特ニ英文ヲ以テ之カ憑據トスルヲ
 又此決定書ニ每部ニ双方全書印シテ之ヲ互カ換シ以テ後ノ
 守ニ保スルヲ

明治十年二月十二日
 千八百七十七年二月十二日

第一國立銀行

洪澤 栄 一印
 益田 孝 印

許道台

朱 印

(Signed) Reid Cooper
agent

約定書中要件異解

一 海關總領事衙門より各官署へ命令ノ手續ハ四川
各領事一相活シ置キタル証票整理ノ前ニ必ス其
手配ニ及ラフコト

一 海關証票ニ付リタルバウク一差出シタルヤト同系ノモノ
タルハ且ツ外國マンニツヨ子ル 印印マシテ付サス 信憑
シ得ルモノトス

一 石炭ノ負額其代價は折算ノ類ニ在ラス係分勉
シテ此約定ヲ為シタルナレバ委細ニお尋ニ陳某ト云

一 東ニ見ホリ以テストノ明支ヲ掲ケスト云々平均ニ來トアル
ニ付海ニ方ヲ為スルニカクテ檢不固ニ能ハルニ付サレノ又也

一 正ニ時銀塊ニ以テモ別ニ純銀ヲ得ルニ在テハ銀鑄
十

藏省

損を丁し又上海銀三三三収収元ノ都合アル此得ハ
 兩様ノ自由ヲ得ノリ
 一 貿易銀ノ洋銀ト上海又ニ極價ニ先方ノ都合ニヨリ
 之先ノ見込ハ此ニ四州銀及定位ノ如ク殊ニ上海厚シト定
 ヲハ先方甚ク困難ニ付脚之ヲ習ヒタルナリ候故テ我
 ニ損生ノ違ナカルトシ
 一 海關証券ノ價ト金ヨリノ命金状ノ價ト夫ニ保証人ノ週
 印ヲ付タリ故ニ此封中ニ可ク不違テ東シテ違呈スレ
 シ
 一 調印ノ許厚カニ其名ヲ記セス只調印ヲ以テ信守ス清國文
 書文氏ニ付然リ之ニ清國ノ恒例ニ依テ
 右ノ件々各念具解仁呈スヤ
 明治十年二月二十日

於長崎

出崎小二郎

大藏卿閣下

(Blank lined area for a response)

我貿易銀上海銀テールト純銀對る概五并

一 海關テールト定テールノ日里目ヲ英量五百八拾三テールトロイ
九テールト定ル

之ヲ上海テールト定テ

但日位九百少拾八定ノ
但百拾五回ノ割

定テールノ英量五百少拾四テールトロイ

但日位三前月外

上海テールト定テールト事ノ英回重

一 四百〇〇九拾ハケテールトロイ

此純銀四百〇〇拾ハケテールトロイ

此道銀量四百四千四百六拾四テールトロイ 但九〇〇、

此成銀量五百〇五回ハ拾六英テールトロイ 但貿易銀

内 一 五百少拾六テールト

一 少拾六テールト

鑄造銀或雜銀
運送費及料共
其外ノ事

一 抄目之

初是記月ノ種
月ノ種ノ刻

痛 省

中以金四回抄拾抄之

美川至百回之白之抄之

取之質易得之鑄通之ヲ七百ノ之ニニニ鐘一初差アル

見ハナリ